

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



つばさ

神奈川県青少年指導員だより

第 67・68 合併号
—2023年3月—発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 市丸 克己
連絡先 神奈川県青少年課

第 67・68 合併号

青少年指導員の皆様におかれましては、日頃より青少年の健全育成に向けた施策へ御協力をいただき感謝申し上げます。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により本号は合併号となりましたが、「青少年指導員大会」の様子をはじめ、再開した行事の記事も多く掲載しておりますので、活動の参考になれば幸いです。

～生きるってなに～明日への確かな一歩を子どもたちとともに！

第 53 回神奈川県青少年指導員大会を開催しました

令和4年11月27日(日)神奈川県立保健福祉大学において、令和元年以来3年ぶりとなる神奈川県青少年指導員大会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者を例年の約半数に制限しましたが、横須賀らしさを随所に見せた大会は、大盛況のまま幕を閉じることができました。関係者の皆様に心から感謝いたします。

◆オープニング

横須賀市消防団音楽隊による演奏でスタートしました。手動サイレンの音色が会場を大いに賑わせました。



◆表彰式

今年度は86名の指導員が表彰されました。受賞者の皆さま、長年の活動本当にお疲れ様です。



◆講演

地球の広報・旅人・エッセイストのたかのてるこさんを講師に迎えて、「生きるって、なに？」をテーマに講演をいただきました。



◆活動事例発表(三浦市、葉山町)

三浦市、葉山町の発表が行われました。ありがとうございました！



県青少年指導員受賞者一覧 (86名)

横浜地域 (50名)	鶴見区	鈴木 成雄
	鶴見区	佐藤智賀子
	神奈川区	大塚 雅俊
	西区	萩原 欽治
	中区	佐藤 正弘
	中区	板垣 隆
	南区	伊東 俊一
	南区	宮本 康明
	南区	山中久美子
	南区	高田 雅美
	港南区	瀧澤 泉
	港南区	森本 進一
	保土ケ谷区	青木 雅人
	保土ケ谷区	臼井 公子
	保土ケ谷区	加藤 典男
	保土ケ谷区	松田 修
	旭区	綾野 弘二
	旭区	岩田 貴
	旭区	川嶋由起子
	旭区	葉師神和男
旭区	木野村浩之	
旭区	山本 恵一	
磯子区	佐々木茂吉	
磯子区	中村 竜也	
磯子区	吉野ひとみ	
磯子区	小俣 英司	
金沢区	橋本 勝則	
金沢区	鈴木 勝義	

川崎地域 (7名)	港北区	梅 信子
	港北区	豊田 優一
	港北区	柳澤 伸彦
	緑区	野澤 眞二
	緑区	北村 昭夫
	緑区	鶴淵真寿美
	緑区	杉浦美千江
	緑区	仲原富士夫
	緑区	杉崎 勇治
	緑区	竹田 節子
	青葉区	森下 哲男
	青葉区	平松美智子
	青葉区	山岸 和治
	青葉区	渥美 豊
	泉区	中瀬 英夫
	栄区	松村幸四郎
	栄区	七宮 正行
	戸塚区	高橋 英志
	戸塚区	澁谷 聡
	戸塚区	皆川 博之
瀬谷区	菊地 勝也	
瀬谷区	廣田理恵子	
川崎区	鈴木 和純	
幸区	田村 京三	
中原区	阿部 照明	
高津区	広瀬喜久江	
宮前区	山本 友彦	
多摩区	岡崎 正治	
麻生区	伊藤 久史	

相模原地域 (3名)	中央区	八木 郁夫
	南区	齊藤 一城
	緑区	石井 明美
横須賀三浦地域 (6名)	横須賀市	爲廣 哲朗
	横須賀市	高島 智子
	鎌倉市	奥谷 多作
	逗子市	内藤 昌浩
	三浦市	大井 寧子
	葉山町	長南 顕子
県央地域 (7名)	厚木市	久保 勝寿
	厚木市	岡田由起子
	大和市	根岸 秀雄
	大和市	井上 均
	海老名市	川島 一起
	綾瀬市	榎本 源吉
	清川村	後藤 朋子
湘南地域 (8名)	平塚市	渡辺 勲
	平塚市	田邊 貴也
	藤沢市	上延 悦子
	藤沢市	田口由美子
	茅ヶ崎市	向谷 朱美
	秦野市	小澤 弘
	伊勢原市	鈴木 裕也
	大磯町	山田 栄子
県西地域 (5名)	小田原市	橋本 恭子
	中井町	早田 誠
	大井町	小野 浩二
	箱根町	湯川 耕一
	湯河原町	鈴木 徳康

地域代表者
あいさつ

横浜地域
川崎地域
相模原地域
横三地域
県央地域
湘南地域
県西地域

この度の受賞、横浜市港南区を代表し御礼申し上げます。ありがとうございました。
 この様な栄誉ある表彰ありがとうございます。川崎市を代表してお礼申し上げます。
 表彰ありがとうございます。多くの仲間と一緒に活動できた事、感謝しております。
 このたびは大きな賞を頂きありがとうございます。これからも地域とともに活動していきます。
 受賞に県央地域を代表しお礼申し上げます。今後も青少年育成に尽力したいと思います。
 この度は表彰いただきありがとうございます。湘南地域を代表してお礼を申し上げます。
 県西地域を代表しお礼を申し上げます。多くの仲間を支えられたことに感謝致します。

指導員大会を終えて 執筆者：神奈川県青少年指導員大会 実行委員長 織田 俊美(横須賀三浦地域)

令和元年に大会実行委員長を拝命して3年、新型コロナウイルスの感染者が急増し、大会中止を心配しておりましたが、無事開催でき安堵しています。県職員、横三地区の多くの方々のご協力ありがとうございました。次回の県西大会は通常開催が出来ることを祈りつつ感謝と御礼のあいさつとさせていただきます。

事務局が行く 社会環境健全化推進街頭キャンペーンを実施しました!

7月の「青少年の育成・被害防止全国強調月間」に合わせ、7月30日(土)新横浜駅、8月7日(日)武蔵小杉駅で約3年ぶりとなる社会環境健全化推進街頭キャンペーンを行いました。

キャンペーンでは、神奈川県遊技場協同組合及び神奈川県福祉事業協会よりご寄附いただいた、県内Jリーグクラブ(川崎フロンターレ、横浜F・マリノス、湘南ベルマーレ、SC相模原)のクリアファイルや県で作成した啓発チラシを配布し、「成年年齢下がっても お酒とタバコは20歳から!」というメッセージを発信しました。



青少年指導員の活動にクローズアップ!!

各地域で再開されたお祭りの特集記事をお届けします。

■ 緑区民まつりに出店

緑区青少年指導員連絡協議会 会長 野中 文子

コロナ禍を経て3年ぶりの開催となった「緑区民まつり2022(10月16日)」にて、緑区青少年指導員連絡協議会では「ペットボトルボーリング」を出店しました。延べ1,292名の方がゲームを体験し、想定以上に大盛況でした。



■ 4年ぶり!あさお区民まつり

麻生区青少年指導員会 土屋 久子

ふれあいコーナーと題して新聞紙で作るエコバッグと缶バッジ作り、参加者が数字になる「人間ビンゴ」をやりました。まつりを通じ指導員と地域の皆さんとの交流を深めていけたと思います。来年も楽しくやりたいです!



■ 青天の下で!

逗子市青少年指導員連絡協議会 会長 福本 秀子

三年ぶりの逗子市民まつりは、米軍基地前の陸上競技場で開催され、基地の方々への対応として、英語表示を求められる等バタバタしましたが、皆様の協力を得て子ども達の笑顔に包まれ大盛況で終える事が出来ました。



■ 公民館まつり

厚木市青少年指導員連絡協議会 会長 川田 房江

市内15地区で活動している青少年指導員は、各々の選出地区で開催される公民館まつりにおいて、地域の方々とのふれあいを創出する機会として従事しています。コロナ禍の制約がある中、充実した活動を夢見て。



令和4年度 青少年の健全育成を進める県民大会

令和5年1月21日(土)麻生市民館(川崎市)において、「青少年のために、今できること~ポストコロナ時代の地域支援~」をテーマに、3年ぶりとなる「青少年の健全育成を進める県民大会」が開催されました。

◆ 基調講演

東京学芸大学准教授の柴田彩千子氏を講師に迎えて、「ポストコロナ時代の地域支援」をテーマに講演をいただきました。

子どもを支援する大人には、保護者・教師のような縦の関係だけでなく、子どもを評価せず利害関係のない「ナナメの関係」の大人の存在も重要であることなど、地域の支援者に求められる姿などについてお話がありました。



◆ パネルディスカッション

NPO法人ファザーリング・ジャパン理事の川島高之氏、子どもの未来サポートオフィス代表の米田佐知子氏、そして神奈川県立新城高等学校の生徒2人をパネリストに迎え、「これからの子どもの居場所づくりと地域の関わり」をテーマに事例発表や、会場も交えての活発な意見交換が行われました。



地域活動報告

「紙ヒコーキ大会」

西区青少年指導員協議会 会長 澁谷 正道



横浜市



「大会指定の型紙」

西区といえば3月の「紙ヒコーキ大会」です。区内6地区の予選を勝ち抜いた「小学3年生以下」「小学4～6年生」「中学生以上・一般」の代表が集まります。

各予選会では朝 10 時から「紙ヒコーキづくり」、11 時から「競技」と、作ることから大会が始まります。同じ型紙で作るのですから、子どもも大人も同じようによく飛びます…となればよいのですが、そうはいかないものです。試投して笑顔になる人、なんで？となる人、つい力が入りすぎてしまう人、でもみんな楽しそうです。キズついた紙ヒコーキを直し、いよいよ本番となります。一人3回飛ばし、飛んだ時間の長さで競います。毎年この大会を楽しみにしている方がたくさんいます。それは、青少年指導員への期待の表れともいえます。西区青少年指導員協議会は、地域の期待に応えられるように日々精進していきます。



「飛行時間を競います」

「3年ぶりの合同研修会」

宮前区青少年指導員連絡協議会 副会長 森山 博之



川崎市



「会場入口で集合写真」

宮前区青少年指導員連絡協議会は宮前と向丘の2地区からなり、例年、両地区合同研修会を実施しています。コロナ禍で思うように実施できない状況が続いていましたが、令和4年度は川崎市総合防災訓練（九都市合同防災訓練）が宮前区で開催されることを受け、青少年指導員として訓練に参加し、活動中の災害を想定した研修内容とするのはいかがでしょうかと提案がありました。

訓練は首都直下型地震等の地震災害に備え、市民の防災意識の高揚及び地域防災力の向上を目的に開催され、23名の指導員が参加し、地震体験や煙体験などの災害体験のほか、AEDや応急手当による怪我などへの対応方法を体験しました。

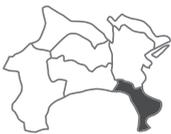
訓練を通じて得られた知識を指導員間で共有し、活動時の備えに向けて継続して防災に取り組むことが大事であると感じた一日になりました。



「AED訓練の様子」

「さわやか体験学習～わら細作り～」

葉山町青少年指導員連絡協議会 水留 純子



横須賀・三浦



「わら細作り体験の様子」

葉山町では、青少年指導員連絡協議会の主管事業として、小学生を対象にもものづくりを行う「さわやか体験学習」を行っています。

今年度は、11月6日に町内小学校体育館を会場に、わらを使った「わら細作り」を行い、小学校3年生から6年生の13名が参加しました。

青少年指導員は、わらを「なう」経験がないので、インターネットで「わらのお飾りの作り方」を調べて指導しました。

当日は、わらのハカマとりを行い、湿らせ木槌でたたいて扱いやすくなりました。

子どもたちは、わら10本ずつの束3つ、計30本のわらで、しめ縄を作りリース状のお飾りを作りました。2つも3つも作る子もいました。作品は、クリスマスリースやお正月飾りに、活躍したかもしれません。

子どもたちも青少年指導員一同も、笑顔や歓声のあふれる楽しい時間を過ごしました。



「参加者が作ったしめ縄」

地域活動報告

「親子ナイトウォークラリー」

海老名市青少年指導員連絡協議会 広報部長 功刀 洋一



海老名市

海老名市青少年指導員連絡協議会の最大の事業である「親子ナイトウォークラリー」を11月12日に開催しました。参加者249組が5キロと8キロの4コースをコマ地図片手に夜暗くなった海老名の街中を親子で楽しく歩きながらゴールの市役所を目指しました。

準備は1年前から始まり、ルート候補を立案し、何度もコースの試走を重ね、ルートを決定しコマ地図を作成します。当日のスタッフも、指導員だけでは足りずに指導員OBや市の職員の方々の協力も得て当日に臨みました。

長引くコロナ禍で3年ぶりの開催となり、指導員も運営に戸惑う場面もありましたが、当初予定の参加人数よりも大幅に多い市民の皆様に参加いただき、事故なく開催することができました。ゴールでの参加者の充実した表情に私達も嬉しく感じました。



「スタート！」



夜の街を歩きます！」

「サンドグラス体験」

寒川町青少年指導員連絡協議会 会長 江藤 教淳



湘南

寒川町では例年「子どもまつり」「さつまいも作り」「キャンプ」を開催しています。

今年度のキャンプ事業はコロナ禍のため内容を変更し、10月29日(土)藤野芸術の家にて体験学習「工房体験サンドブラスト」を企画しました。小学生3年生～6年生の20名が参加しました。午前中はジュニアリーダーズクラブによるレクリエーションを通して、朝緊張していた子ども達もすっ

かり打ち解ける事が出来ました。午後はメインイベントのサンドブラストです。自分の好きなグラスを選びシールを貼ったり好きな模様を切り抜いたり、一人一人熱心に集中して個性あるグラスが完成しました。アンケートでは「信じられないくらい楽しかった!」「難しいけど、自分で出来た時嬉しかった!」などの感想が寄せられ、とても良い体験になったのではと思います。



『作成中の様子』



『完成したサンドグラス』

「子どもクリスマス会」

大井町青少年指導員協議会 副議長 小野 浩二



県西

大井町青少年指導員協議会は、現在21名が所属しており、町内巡回パトロールや野外教育施設での体験学習補助などを行っています。

今年度も感染症拡大の影響から中止した事業がいくつかありましたが、当協議会では、町内の子どもたちが触れ合う場として「子どもクリスマス会」を企画し実施しました。本事業は、ジュニアリーダーズクラブや大井町笑顔特派員

スベリー・マーキュリー氏に御協力いただき、ドッジボールやプレゼント配付などを行いました。当初はどのくらいの人数が集まるか分からず不安でしたが、予想よりも多くの子どもたちに参加していただくことができ充実した活動となったと思います。今後も感染症の影響から活動が制限されることがあるかと思いますが、今回の経験をこれからの地域活動に繋げていきたいと思っています。



『ドッジボール』



『プレゼント配付』



かもめ通信

(令和5年4月～令和5年9月の予定)
※新型コロナウイルス感染症の影響により、
内容の変更や中止となる場合がございます。

◆横浜市

〈神奈川県〉

【事業名称】 ホタル観察の夕べ
 【実施主体】 神奈川県青少年指導員協議会
 【日時】 6月9日(金) 19時15分～20時30分
 ※雨天時6月16日(金)に順延
 【場所】 神奈川県立四季の森公園(JR横浜線中山駅徒歩15分)
 【内容】 神奈川県内に住又は在学の小・中学生と保護者の方を対象として、親子で夜空に舞うホタルを鑑賞します。(事前申込制)

〈保土ケ谷区〉

【事業名称】 第25回保土ケ谷区手作り紙ヒコーキ大会
 【実施主体】 保土ケ谷区青少年指導員協議会
 【日時】 7月2日(日)
 【場所】 保土ケ谷スポーツセンター
 【内容】 区内18地区の予選を勝ち抜いた選手が、自慢の紙ヒコーキの滞空時間を競います。

〈都筑区〉

【事業名称】 はあと de ボランティア
 ～中高生のための夏休みボランティア体験～
 【実施主体】 都筑多文化・青少年交流プラザ(つづきMYプラザ)
 都筑区青少年指導員連絡協議会
 【日時】 募集期間：6月上旬～7月上旬
 実施期間：7月下旬～8月下旬
 【場所】 都筑区内各所(地域の夏祭り、公園愛護会活動、公共施設等を予定)
 【内容】 オリエンテーション、ボランティア体験、振り返りの3つのステップで実施します。

〈戸塚区〉

【事業名称】 第28回チャレンジフェスティバル
 【実施主体】 (主催) 戸塚区青少年指導員協議会
 (共催) 戸塚区子ども会連絡協議会
 【日時】 5月21日(日)
 【場所】 戸塚小学校校庭・体育館 ※雨天時は体育館のみ実施
 【内容】 自己ベストを目指して、幅跳びやスリッパ飛ばしなどの競技にチャレンジする小学生向けイベントです。(参加無料)

〈栄区〉

【事業名称】 栄区青少年指導員協議会 全員研修会
 【実施主体】 栄区青少年指導員協議会
 【日時】 6月頃
 【場所】 未定
 【内容】 野外調理実習など、夏の地区活動に向けたアウトドア研修を行います。

◆相模原市

【事業名称】 第50回相模原市民若葉まつり
 【実施主体】 相模原市民まつり実行委員会
 【日時】 5月13日(土) 13時～17時
 5月14日(日) 10時～17時
 【場所】 相模原市役所さくら通り周辺
 【内容】 新型コロナウイルス感染症の影響により、3年連続で現地開催中止となっておりますが、感染症対策を実施のうえ、市役所さくら通りでの開催を予定しています。青少年指導員が、創作コーナー、魚釣りゲームなどを企画しています。

◆厚木市

【事業名称】 第26回少年少女フェスティバル
 【実施主体】 (主催) 厚木市
 (主管) 厚木市青少年指導員連絡協議会
 【日時】 5月14日(日) 10時30分～
 【場所】 アミューあつぎ7階
 【内容】 青少年指導員が、子どもたちに遊び道具作りを体験してもらいます。

◆大和市

【事業名称】 第37回親子ナイトウォークラリー
 【実施主体】 (主催) 大和市教育委員会
 (主管) 大和市青少年指導員連絡協議会
 【日時】 7月15日(土) 予定
 【場所】 未定
 【内容】 目印や記号などが書かれたコマ地図(コース図)を頼りに、親子で郷土大和の史跡・名所を歩き、郷土愛を深めながら、チームワークと判断力、注意力を駆使して未知のコースを歩きます。

◆綾瀬市

【事業名称】 ふれあい探検ウォークラリー大会
 【実施主体】 (主催) 綾瀬市
 (主管) 綾瀬市青少年育成協議会
 【日時】 7月中旬～11月上旬 16時～(予定)
 【場所】 綾瀬市役所南側広場発着2コース(予定)
 【内容】 市内在住・在勤・在学の方を対象とし、クイズやアトラクションに挑戦しながら市内を歩きます。

◆伊勢原市

【事業名称】 青少年指導員連絡協議会 全体研修会
 【実施主体】 伊勢原市青少年指導員連絡協議会
 【日時】 6月25日(日) 9時～12時
 【場所】 大田小学校体育館
 【内容】 今後の地域の活動に向け、「モルック」の研修を行います。

県からのお知らせ

～青少年がインターネットトラブルに巻き込まれないために～

神奈川県青少年課では、青少年が SNS 等でインターネットトラブルに巻き込まれないよう、啓発動画を制作しています。青少年指導員の皆様方におかれましても、地域の青少年などに対し、インターネットの正しい使い方を考える機会を用意する等、青少年がインターネットトラブルに巻き込まれない環境作りにご協力をお願いします。



← 青少年課ホームページ
『青少年のインターネット利用』



機関紙「つばさ」第28期編集委員 5名(敬称略)

- 山崎 直宏(横浜地域) 萩原 正恵(県央地域/担当理事)
- 渡辺 孝一(川崎地域) 福本 秀子(横須賀三浦地域)
- 齊藤 一城(相模原地域)

※「つばさ」を県のホームページからも
見ることができます。



編集後記

第28期 つばさ編集委員 齊藤 一城 (相模原地域)

コロナはなかなか人類を嫌いになってくれませんが、苦しい中、少しずつ日常を取り戻しつつある今日この頃です。各地の青少年指導員の活動もだんだんと活気づいてきたようです。
 今回も「つばさ」は67・68号の合併号となりましたが、各地域に記事を募ったところ、多くのメッセージが寄せられました。レイアウトを工夫してなるべく多くの記事を載せるように編集しましたので、楽しんでいただけるかと思います。どうぞよろしくお願いいたします。